

| | | | | | | | |
|------|--------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名 | 英語 1 D | | | | | 単位 | 1.0 |
| 担当教員 | 伊藤 正栄 | | | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 開講期間 | 前期 | 配当年次 | 1 | 授業番号 | 3103 |

●授業のテーマ

英語を通して、いつでも、どこでも、だれとでも共生できる力の養成！

●到達目標

- ①英文を読むことを通して推論能力を身につけさせることを目指します。
- ②英語を聞くこと、話すことに対して積極的な姿勢で臨めるようになることを目指します。
- ③英語を媒介とした知的情報の受信、選択、分析、発信を基本とするコミュニケーション能力の実現を目指します。

●学習内容(授業概要)

環境問題や異文化理解、20世紀の偉人が残した足跡について興味深く述べられている英文を通して、「読む力」「書く力」を高め、総合的英語力の養成に努めます。更に学生諸君が、自ら深く、広く思考する週間を身につけ、感性を深めてもらえる様に、分かり易く興味深い英字新聞のプリント等も活用しながら、授業を進行していきます。

●学習内容(授業計画)

- 第1回 Orientation : 授業概要・成績評価等重要事項説明
 第2回 Lesson 1 (講読・演習)
 第3回 Lesson 2 (講読・演習)
 第4回 Lesson 3 (講読・演習)
 第5回 Lesson 4 (講読・演習)
 第6回 Lesson 5 (講読・演習)
 第7回 復習テスト(1)
 第8回 Lesson 6 (講読・演習)
 第9回 Lesson 7 (講読・演習)
 第10回 Lesson 8 (講読・演習)
 第11回 Lesson 9 (講読・演習)
 第12回 Lesson 10 (講読・演習)
 第13回 復習テスト(2)
 第14回 応用テスト
 第15回 まとめ

●準備学習・事後学習の内容

授業[前・後]の予習、復習事項については、毎回細やかに指示しますが、単位取得後も自ら活用出来るものへと発展させていく事を念頭において、その内容充実に努めてもらうことを望みます。

●成績評価方法・基準

平常点 [出席率・授業態度 (25%)、レポート・発表 (25%)] 50%
 テスト (復習・応用テスト等) 50% を基準とします。

●テキスト(必携)

- ≪No.1.≫書籍名 : Messages from the 20th Century (20世紀からのメッセージ)、著者名 : 大内 博、出版社 : 成美堂
 ≪No.2.≫書籍名 : Our Precious Earth (人間と地球)、著者名 : 山村 三郎、出版社 : 成美堂

●参考文献／その他

参考文献等は適宜必要に応じ指示します。

●履修上の注意

- (1) 急がず、休まず、自分らしい目的意識をもち継続努力してもらえることを期待しています。
- (2) 授業進行上、授業計画等において変更内容発生の際には、直接授業時に発表するため要注意してください。